

《担当者名》教授/安彦 善裕 yoshi-ab@ 教授/古市 保志 furuichi@ 教授/永易 裕樹 nagayasu@
 教授/越野 寿 koshino@ 教授/三浦 宏子 hmiura@ 教授/長澤 敏行 nagasawa@
 教授/會田 英紀 aita@ 教授/照光 真 terumitsu@ 教授/高橋 伸彦 ntkhs@
 准教授/豊下 祥史 toyosita@ 非常勤講師/藤本 篤士 外部担当者名は、後述する。

【概要】

口腔医学の観点から、歯科診療上重要な疾患・病態、診断・治療及び口腔と全身との関わりを理解し、全身の問題に関する考慮が必要な患者に対する歯科診療上不可欠な基本的知識を習得する。なお、本講義では、通常講義に加えてTV講義システムを利用したビデオ講義又は他大学とのリアルタイムの連携講義を行う。

【学修目標】

- 歯科診療時に全身状態を把握する習慣を身につける。
- 歯科診療上重要な救急時の初期対処方法と救命・救急の基本を理解する。
- 歯科診療上重要な頭頸部領域の主な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。
- 歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。
- 口腔から発見できる全身疾患を症候別に理解する。
- 加齢・老化に伴い増加する疾患を学び、高齢者の歯科治療上の注意点を理解する。
- 歯科診療に役立つ基本的栄養管理を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科診療時の全身状態の把握	歯科診療時に全身状態を把握する習慣を身につける。 1) 貧血及び黄疸を説明する。 2) 末梢血検査データを評価する。 3) 血液生化学検査データを評価する。	福岡歯科大学 内科学 (大星 博明) 総合歯科学 (廣藤 卓雄)
2	歯科診療時の全身状態の把握	歯科診療時に全身状態を把握する習慣を身につける。 1) 血液生化学検査データを評価する。 2) 肝機能検査結果を評価する。 3) 腎機能検査結果を評価する。 4) 呼吸器系の検査を説明する。	神奈川歯科大学 内科学 (青木 一孝) 麻酔科学 (有坂 博史)
3	救急医療	歯科診療上重要な救急時の初期対処方法と救命・救急の基本を理解する。 1) AEDについて説明する。 2) 意識消失した患者の対応と鑑別疾患を列挙する。 3) 呼吸困難を訴える患者の対応と鑑別疾患を列挙する。 4) 胸痛を訴える患者の対応と鑑別疾患を列挙する。	北海道医療大学 歯科麻酔科学 (照光 真) 口腔外科学 (永易 裕樹) 内科学 (高橋 伸彦)
4	頭頸部領域の診断と治療	歯科診療上重要な頭頸部領域の主な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。 1) 睡眠時無呼吸症候群の病態を説明する。 2) 終夜睡眠ポリグラフ検査結果を評価する。 3) 睡眠時無呼吸症候群に対する各種治療法を列挙し、口腔内装置の奏効機序と適応基準を説明する。 4) 睡眠時無呼吸症候群に対する外科的治療法を説明する。	鶴見大学 クラウン (小川 匠) (重田 優子) 口腔顎顔面外科学 (濱田 良樹)
5	頭頸部領域の診断と治療	歯科診療上重要な頭頸部領域の主な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。 1) 中耳疾患と顎関節疾患を鑑別する。 2) 鼻・副鼻腔疾患と口腔疾患との関連性について説明する。 3) 咽頭疾患の病因・病態と診断・治療を説明する。 4) 歯科診療時に診断できる頸部腫瘤を列挙する。	福岡歯科大学 口腔外科学 (池邊 哲郎) 耳鼻咽喉科学 (山野 貴史)

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
6	口腔症状から発見できる全身疾患	口腔症状から発見できる全身疾患を症候別に理解する。 1) 口腔粘膜のびらん・潰瘍性病変から発見できる全身疾患を列挙する。 2) 歯肉出血や抜歯後出血から発見できる全身疾患を列挙する。 3) 口腔顎顔面領域の神経学的異常から発見できる全身疾患を列挙する。 4) 口腔内の色素沈着から発見できる全身疾患を列挙する。	福岡歯科大学 口腔外科学 (池邊 哲郎) 内科学 (大星 博明) 眼科学 (川野 庸一)
7	歯科診療に影響する疾患	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。 1) 妊婦の口腔保健状態を良好に維持するための留意点とその医学的背景について説明する。 2) 糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明する。 3) 歯科治療と関連が深い細菌感染症の病態を説明する。 4) 歯科診療時に注意を要する内分泌疾患について説明する。	福岡大学 産婦人科学 (宮本 新吾) 福岡歯科大学 歯周病学 (吉永 泰周) 口腔インプラント学 (城戸 寛史) 内科学 (大星 博明)
8	歯科診療に影響する疾患	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。 1) 虚血性心疾患、不整脈疾患、チアノーゼ性心疾患、弁膜症、感染性心内膜炎、心不全などの病態と歯科治療上の注意点を説明する。 2) 虚血性心疾患、不整脈疾患など歯科診療で重要な疾患の心電図の判読と緊急対応について説明する。	岩手医科大学 歯科内科学 (中居 賢司)
9	口腔乾燥症と疾患	口腔乾燥症の病態について説明できる。 口腔乾燥症に関連する疾患について説明できる。 口腔乾燥症の治療法について説明できる。	安彦 善裕 長澤 敏行
10	超高齢社会と歯科医療	超高齢社会について説明できる。 超高齢社会と医療体制について概説できる。 超高齢社会における歯科医療ニーズについて説明できる。	三浦 宏子
11	高齢者の心身的特徴	高齢者の心身的特徴について説明できる。 高齢者に対する医療面接の重要性を説明できる。	永易 裕樹
12 13 14	高齢者	脳梗塞などの疾患に罹患した患者に対して、退院後に行う地域連携医療の実際について理解する。	越野 寿 豊下 祥史
15	高齢者	高齢者における栄養管理について説明できる。 摂食嚥下障害の治療について説明できる。	藤本 篤士 會田 英紀

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

・多肢選択式客観試験で実施する。

【教科書】

「歯科のための内科学」 南江堂

「標準臨床検査医学」 医学書院

「老年歯科医学」 医歯薬出版

「一目でわかる小児科学」 メディカル・サイエンス・インターナショナル

「口腔外科の疾患と治療」 永末書店

「NEW法医学・医事法」 南江堂

「歯科医学の基礎」 永末書店
「スタンダード全身管理・歯科麻酔学」 学健書院

【参考書】

「サルコペニアの摂食嚥下障害」 医歯薬出版
「老化と摂食嚥下障害」 医歯薬出版

【学修の準備】

予習は、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解する（80分）。
復習は、教科書、プリントなどを活用し、学習を深める（80分）。
TV講義システムを利用したビデオ講義又は他大学とのリアルタイムの連携講義では、事前に指定した教科書の関連する章及び1週間前に配付されたプリントを読み、専門用語の意味等を予習する。
・講義中は、他大学の講義担当者からTV講義システムを介して名指しで質問がくるので、事前の学習が重要である。
講義終了後は講義内容についてノート、教科書、配付されたプリントを復習し、理解する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医科的、歯科的疾患の知識および診断法を医歯学を統合した観点から修得する（専門的実践能力）
DP3.疾患の予防、診断および治療の新たなニーズに対応できるよう生涯にわたって自己研鑽し、継続して口腔医学の知見を発展させる能力を医歯学を統合した観点から身につける（自己研鑽力）。
DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら口腔医学という歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を医歯学を統合した観点から実践する（多職種が連携するチーム医療）。

【実務経験】

安彦 善裕（歯科医師）、古市 保志（歯科医師）、永易 裕樹（歯科医師）、越野 寿（歯科医師）、
三浦 宏子（歯科医師）、長澤 敏行（歯科医師）、會田 英紀（歯科医師）、照光 真（歯科医師）、
高橋 伸彦（医師）、豊下 祥史（歯科医師）、藤本 篤士（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科診療上重要な疾患・病態、診断・治療及び口腔と全身との関わりを理解し、全身的問題に関する考慮が必要な本科目において、歯学部においても特に医学・歯学両者が統合した実務経験に従事する教員が講義を担当している。